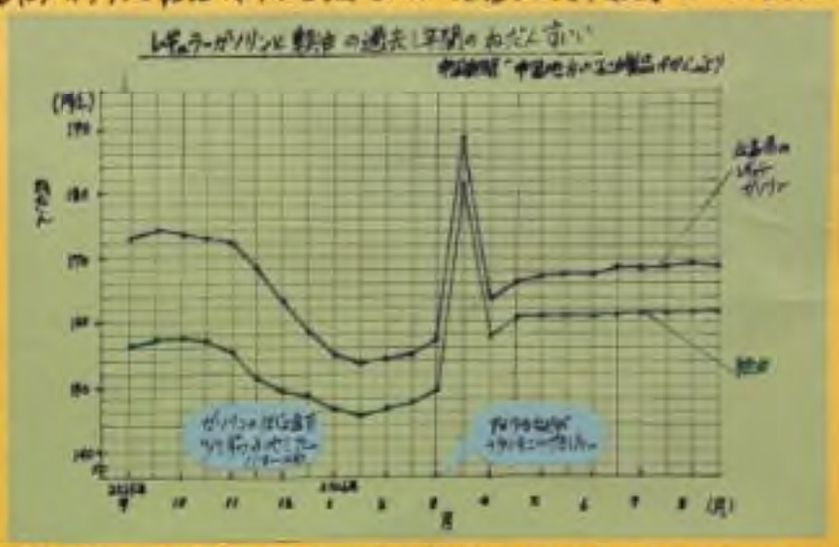
石油不足を考える

〈調べるきっかけ〉国際ふん争でホルムズ海きょうがふうさされ、日本の原油輸入量がへり、私たちの生活は大きなえいきょうを受けている。生活の中で石油がどのように使われているかを調べて石油の大切さを感じ、これからどうしたら使用量をへらすことができるか考えた。

原油の精製と加工のながれ



レギュラーガソリンと軽油のねだんを調べるために、図書室で新聞記事のえっらんを行った



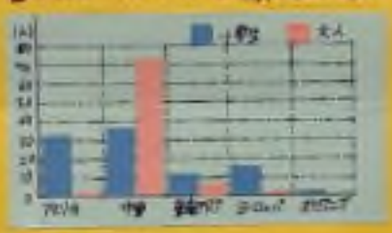
国際ふん争が始まったころレギュラーガソリンと軽油のねだんが高くなっていることがわかる。

〈調査〉石油についての意しき調査をアンケートで行った。
対象：小学3年生 96人（男子：44人 女子：52人）
大人 82人（男：21人 女：61人）
実し日：2026年7月17日～7月24日

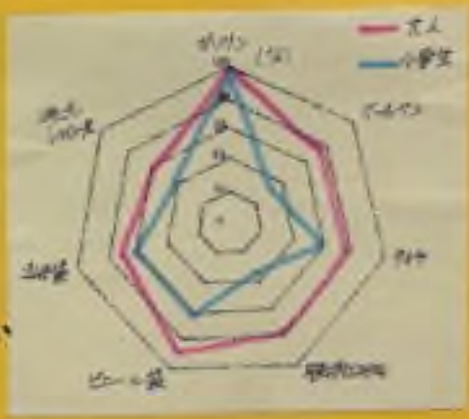
Q1 石油不足への不安はありますか？



Q3 日本はどこから石油を輸入している？



Q4 石油からできているものの正答りつ



Q2 日本の石油自給りつは何％？



〈まとめ Q1～Q4〉
日本の石油自給りつが0.3％と低く、その輸入のほとんどを中東にたよっていることを知っている人は多く、今後に不安を感じている。石油からできている身の回りのものの正答りつは意外に低かった。
では、石油のムダ使いをしないためにどうすればよいか考えた。

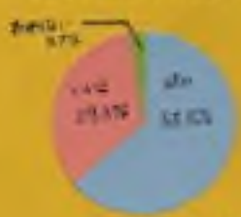
Q5 食べ残しを（小学生対象）しないようにしている？



Q6 エコバッグを（小学生、大人対象）使用している？



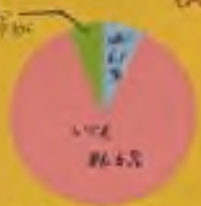
Q8 エアコンの温度を（大人対象）下げすぎないようにしている？



設定温度は？



Q7 車より公共交通機関をふやした？（大人対象）



他にも石油を節約するために、
- 戦争をしない。
- リサイクルをする。
- 不必要なものを買わない。
- 移動に自転車を使う。
- しゃ光カーテンを使う。
- 太陽光・風力発電をふやす

の意見があげられた。

〈まとめ Q5～Q8〉
日ごろから、自分たちにできる方法で石油の節約をしていることがわかった。また、電気の方法以外にも節約の方法があった。一人一人のえいきょうは小さいかもしれないが、みんなが毎日続けていくことが大事だと思った。

〈考察〉国際ふん争が起こり、ガソリン代が高くなったり、お菓子のパッケージが白黒に変わったりと私たちのくらしに大きなえいきょうをあたえ、どの世代も石油不足を心配している人が多かった。また、生活の中で欠かすことができない多くのものが石油からできていることも知った。今後も、ふん争が続けば、石油を自給できない日本ではさらに石油不足となることが予想される。これをきっかけに私たちのライフスタイルを見直し、便利な使い捨ての考え方からリユース・リサイクルがゆう先される社会にして、かぎりある資げんを大切にしなければいけないと感じた。